

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

令和6年度  
編入学 専門科目試験問題  
( 100点  
60分 )

千葉県立保健医療大学 健康科学部  
看護学科

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 問題冊子は、表紙を除き5頁である。
3. 問題冊子及び解答用紙の印刷が不鮮明などの場合には、手を挙げて監督員に知らせること。
4. 解答は、必ず黒の鉛筆（シャープペンシルも可）で解答用紙に記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。
6. 不正行為に対しては厳正に対処する。

【問題1】以下の文章について、空欄1～20にあてはまる適切な語句または数字を入れなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

1. 上腹部痛（右季肋骨部痛）、発熱、（ 1. ）の3つは急性胆管炎の代表的な症状で、Charcote（シャルコー）3徴といわれる。
2. 上腕からの出血がある場合の間接圧迫止血の部位は（ 2. ）動脈である。
3. 瞳孔散大筋を収縮させて散瞳を引き起こす自律神経は（ 3. ）神経である。
4. 腎盂、尿管、膀胱、尿道のうち、蠕動運動がみられるのは、腎盂と（ 4. ）である。
5. 生体内でたんぱく質が分解され、アミノ酸の代謝が進んで生じたアンモニアは肝臓で（ 5. ）に変換される。
6. 身長170 cm、体重70 kgの成人の体格指数（BMI）を少数点以下を四捨五入して計算すると（ 6. ）である。
7. 後天性免疫不全症候群（AIDS）と梅毒は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）に基づく（ 7. ）類感染症である。
8. 労働衛生の「3管理」とは、作業環境管理と作業管理と（ 8. ）管理である。
9. ピアジェ.J.の認知発達理論において7～11歳は、（ 9. ）期といわれ、保存の概念が獲得される。
10. 生活保護法で実施される扶助は、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、（ 10. ）扶助、生業扶助、葬祭扶助の8種類である。
11. 股関節の良肢位は10～15度の（ 11. ）位である。
12. クロウン病は原因不明の慢性疾患であり、口から肛門までのあらゆる消化管に（ 12. ）性の病変がおこる炎症性腸疾患である。
13. （ 13. ）神経が麻痺すると、母指球の筋の萎縮で母指を手掌から立てる運動ができなくなり、猿手がみられる。
14. （ 14. ）医療制度は、高齢者の医療の確保に関する法律（高齢者医療確保法）が制定された際に新たに創設された。

15. 乳幼児健康診査を規定している法律は、（ 15. ）法である。
16. 抗精神病薬の開始後数時間から数日後に有害反応として、口・舌・顎・顔面・体幹・四肢の筋肉がかたくなったり収縮したりして、不随意にねじれる（ 16. ）がみられることがある。
17. エイズ・結核・（ 17. ）は、現在においてもなお世界の三大感染症である。
18. （ 18. ）とは、自身の終末期に実施される医療に関して、判断能力のあるうちに意思表示をすることやそれを記した書面そのものをいう。
19. 細菌性髄膜炎の症状の1つである（ 19. ）は、通常の光量でもまぶしく不快に感じる症状である。
20. 自身の欲求や感情をみとめることができない場合に、正反対の感情・考え・行動様式を身につけてしまう心理的防衛機制を（ 20. ）という。

【問題2】以下の事例を読み、問いに答えなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

Aさん(55歳、女性)は、会社の健康診断で貧血(Hb 9.2 g/dl)を指摘された。その後、上部消化管内視鏡検査を行った結果、胃前庭部に直径 3.5×3.5 cm の陥没病変が発見された。細胞診では腺がんの Group 5 と診断された。

医師から「胃の幽門部側に直径 3.5 cm くらいのがんができています。胃を3分の2切除する手術が必要です。手術後は食事に注意をしなければいけないが、徐々に普通の生活に戻れるので、早く回復するよう術後はよく動いてください」と説明があり、Aさんは「そんな」と無表情に口をつぐんだ。

手術前日に手術を受ける目的で、夫に付き添われ独歩で入院した。入院時の表情は穏やかで「手術をして早く治したい」と話した。看護師が術前のスケジュールを説明すると「わかりました。」と混乱なく行動する様子がみられた。

術前は問題なく経過し、腹腔鏡下幽門側胃切除がAさんに実施された。

術後1日目から歩行でき、創部痛はあるが硬膜外カテーテルに接続されている(①)を活用して自分で鎮痛薬を投与してコントロールできていた。吻合部に留置されているJVACドレーン排液は淡血性であり量は徐々に減少してきた。術後2日目から飲水開始となり、看護師より胃術後の食事療法について説明すると理解する様子がみられた。術後3日目昼から1日6回食で流動食が開始となった。②初回の流動食摂取した直後に、Aさんが冷汗、動悸、腹痛を訴えた。

看護師は、③この術後合併症を予防するための注意事項を説明した。

問1 Aさんが医師からがん告知をされたときの反応はフィנקの危機モデルではどの段階か記載しなさい。また、その段階における看護師の望ましい対応を記載しなさい。

問2 (①)に入る適切な言葉を記載しなさい。

問3 下線部②で考えられる術後合併症は何かを記載しなさい。また、この術後合併症が起こった機序を記載しなさい。

問4 下線部③で説明する注意事項を2つ記載しなさい。

【問題3】以下の事例を読み、問いに答えなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

Bさんは、33歳の初産婦。身長158cm、非妊時体重53kg、BMI 21.2。妊娠38週2日で妊婦健康診査のため来院した。体重62.0kg、血圧112/66mmHg、尿蛋白(－)、尿糖(－)、浮腫(－)であった。Bさんは「買い物に行った後にお腹が張ることがありますが、すぐにおさまります。」と言う。本日はNST<non-stress test>を行うため、分娩監視装置を装着することになった。

問1 分娩の前兆である分娩開始に先行しておこる徴候を3つ記載しなさい。

問2 妊娠中に胎盤において産生されるプロゲステロンとエストロゲンにより、作用を抑制しているホルモンの名称を記載しなさい。

問3 胎児の位置や大きさをみることを目的とする触診法の名称を記載しなさい。

問4 BさんはNSTを開始し、20分が経過した。胎児心拍数陣痛図により、胎児心拍数基線は110bpmであり、胎児心拍数基線細変動を認める。一過性頻脈が20分間に1回認められ、一過性徐脈は認められなかった。以下の問いに答えなさい。

(1) NSTを開始する際に、Bさんに対して、どのように説明するかを具体的に記載しなさい。

(例) NSTは胎児の健康状態を評価する検査です。

(2) 現在の胎児の健康状態について、判断の根拠とともに具体的に記載しなさい。

【問題4】以下の事例を読み、問いに答えなさい。解答は解答欄に記載しなさい。

Cさん(30歳、女性、会社員)は、両親と中学生の妹の4人家族で、未婚である。Cさんは新卒で就職した会社での勤務を続け、30歳で係長に昇進した。連日食事もせず徹夜で会議資料の作成や営業データの分析をしていた。1か月が経過した頃、会議中に「社長に重要なプレゼンテーションをしなくてはならない。」と大声で騒いだり、取引先の会社に無断で押しかけたり、急に高額な買い物をして両親を困らせたりした。産業医が話を聞くと、「莫大な利益が出せる企画を思いついた。自分は天才だ。」と話し続け、「みんな、私の能力を恨んでいる。この会社では自分を伸ばす有能な上司はいない。」と怒鳴ったり、急に上機嫌で部下に奢りまくったりした。両親に付き添われ、精神科病院を受診したところ、診察した医師により双極性障害が疑われた。

問1 Cさんは入院に同意していなかったが、医療保護入院となった。医療保護入院は、本人が入院に同意していない場合に、本人以外が入院の必要性を判断する強制入院の形態である。Cさんのこの入院形態が12時間以上続いている場合、入院の同意は誰が行うのか、入院の必要性を判断したのは誰かについて、それぞれ解答欄に記載しなさい。

問2 Cさんは、入院当日は不眠で、翌日も終日歩き回り、視野に入った人全員に上機嫌で脈絡なく話しかけ、他患者への過干渉もあった。病棟内で心理教育のグループワークが開催されると聞き、「私も参加したい！なぜのけ者にするのか！」と看護師に怒り出した。この時の看護師として、望ましい対応について理由とともに記載しなさい。

問3 Cさんにはリーマス®錠が処方された。内服を開始してから1週間が経過した時の血清リチウム濃度は1.5 mEq / Lであった。今後、Cさんに生じる可能性のある身体症状を2つ記載しなさい。

問4 以下の(1)と(2)それぞれの状況における看護師として望ましい対応を記載しなさい。

(1) Cさんから「私の今回の入院は不当だから、人権擁護団体に電話したい。」と訴えがあった。

(2) Cさん宛に中身が見えない大きな小包が病院に届いた。